

平成17年度 分別排出方法検討分科会 の検討状況

2006年10月20日

1

分別排出方法検討分科会(C分科会)の検討状況

(1) 分別排出方法検討分科会(C分科会)の開催状況と検討内容

開催日	検討内容
第1回 H17.7.27	分科会での検討事項 現況調査の概要説明 建設混合廃棄物に関する意見交換
第2回 H17.10.18	現況調査の報告 問題点の整理 意見交換
第3回 H18.2.21	A・B分科会での検討状況 問題点の整理
第4回 H18.3.23	分別基準案について

(2) - 1 第1回分科会での検討内容

分科会での検討事項

現況調査の概要説明

- ・平成14年度建設副産物実態調査
- ・建設系混合廃棄物の原単位調査
- ・建設混合廃棄物の組成及び原単位調査
- ・建設副産物回収システム検討委託(分別排出方法の検討)

建設混合廃棄物に関する意見交換

(2) - 2 第1回分科会での主な意見

【主な意見】小口巡回の対象の議論の必要性

「工種」「工期」「現場の広さ」などどの程度のものを小口巡回の対象とするか議論する必要がある。

【合意事項】「排出事業者」「処理業者」へのアンケート調査の実施

排出事業者によって決められた
分別ルールがあって、多種多様。

分別基準が排出側と処理側で整合
がとれているのか、不明。

排出側の分別状況、処理側が受入れる廃棄物の種類、品質の現状を把握が必要
その上で、排出側と処理側の基準・ルールの統一化が必要

アンケート調査を実施し、現況を把握

(3) - 1 第2回分科会での検討内容

現況調査状況の報告

- ・小口巡回回収システムに対する建築業協会(BCS)会員企業の取組 など

問題点の整理

- ・排出事業者アンケート集計(建廃の分別基準、実施状況等を調査)
- ・処理業者アンケート集計(建廃の受入状況、基準、リサイクル状況等を調査)
- ・建設混合廃棄物組成の体系的整理 など

アンケート調査結果から排出事業者の分別状況、処理業者の受入状況を把握した。

また、混合廃棄物の組成の体系的整理を行い、小口共同回収システムを導入する有効性を工種別に「既存データの有無」「混廃に含まれる可能性」「混廃からの分別の可能性」「小口としての発生率」の観点から整理し、最終的に11品目24種類に分別品目を集約した。

5

(3) - 2 第2回分科会での主な意見

【主な意見】

分別ヤードの確保が困難。また、廃棄物を受入れる側にも受入が困難な品目もあると思う。

この分別基準は議論を円滑に進めていくために、暫定的に選出したものであり、現状を把握するための出発点として分別品目を考えて欲しい。(協議会事務局WGメンバー)

11品目の分別品目中に細分化されている品目がいくつかあるが、実際に現場でどのように分別していけばよいのか。

今後他の分科会も含め検討すべき内容である。(協議会事務局WGメンバー)

プラスチックをどのように再資源化するかによって分別品目が異なってくると思う。また、再生処理業者によって受入基準も異なっている。他の分別品目も含めて、再資源化するルートも含めて再検討すべきである。

一方的に再生事業者側の要望を現場に押し付けるわけにはいかない。今後分別回収を進めていく上でも何か違った仕組みが必要である。(協議会事務局WGメンバー)

(4) - 1 第3回分科会での検討内容

他分科会状況の報告

問題点の整理

- ・混合廃棄物組成の体系的整理
- ・排出事業者側 分別品目()
- ・処理業者側 分別品目()
- ・関東建設廃棄物協同組合分別案提示

アンケート調査結果と今までの建設副産物に関する調査から新築工事と解体工事における分別基準を、工事から実際に発生する副産物と現場が分別可能と思われる名称分類から考察し、処理業者の分別品目に対応できる品質を可能な限り維持する方向で検討

アンケート調査結果から調査対象品目と主な調査対象項目を結びつけ、より細かな分別基準とする方向で検討

(4) - 2 第3回分科会での主な意見

【主な意見】

排出側、処理側それぞれの視点から、共通するものをスペースやコストを無視してまず理想的な分別ルールを作っていく。そこからもう少し現状を照らし合わせて絞り込むべきだと思う。

【合意事項】

対象となる工事については、解体工事と新築工事にわけることとする。

(5) - 1 第4回分科会での検討内容

分別基準案について

- ・分別排出手法検討分科会 第3回までの経緯
- ・分別基準案説明
- ・処理業者側からの検討内容

新築工事、解体工事について、分別品目を段階的に設定した分別基準案を作成(新築工事は4段階、のべ43品目。解体工事は3段階、のべ47品目)

(5) - 2 第4回分科会での主な合意事項

今回提出された新築工事、解体工事における基準案をC分科会からの中間的な報告として、A・B両分科会に回したい。

物流センターの位置付けもあわせると現実的になると思う。この辺りの議論も含め、A・B分科会に実行していく方法を議論してもらいたい(議題が戻ってくるようであれば、再度C分科会で議論する)。

9

新築工事における分別基準案

解体工事における分別基準案

については、別添資料を参照。

新築工事における分別

分類品目名	品質基準1	品質基準2	品質基準3	品質基準4	番号
廃プラスチック類	汚れ、異物付着・混入有り				1
	汚れ、異物付着・混入無し	複合材			2
		プラスチックのみ	塩ビ系	軟質	3
			非塩ビ系	硬質	4
				軟質	5
		発泡ウレタン・スチロール			
廃プラスチック類 塩ビ管	汚れ、異物付着・混入有り				7
	汚れ、異物付着・混入無し	標準色塩ビ管			8
		色物塩ビ管			9
木くず	伐採材、伐根材				10
	複合建材				11
	木材	汚れ、異物付着・混入有り			12
		汚れ、異物付着・混入無し			13
がれき類	コンクリートがら	金属等異物の混入物			14
		他の建材との複合物			15
		汚れた土砂、有機性の付着物			16
		コンクリートのみ	30cm以上		17
		30cm未満		18	
	アスコンがら				19
	その他がれき(コンクリート2次製品、大谷石、自然石、セメント瓦、CB)			20	
金属くず	鉄くず	汚れ、異物付着・混入有り	有機性付着物		21
			無機性付着物		22
		汚れ、異物付着・混入無し			23
	非鉄くず	汚れ、異物付着・混入有り	有機性付着物		24
			無機性付着物		25
		汚れ、異物付着・混入無し			26
	電線くず				27
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず 石膏 ボード (メーカー判明)	汚れ、異物付着・混入物				28
	水濡れ物				29
	石膏ボードのみ	細かくなりすぎた物			30
		ボード状の物			31
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず グラスウール、 岩綿吸音板、ロックウール	汚れ、異物付着・混入物				32
	水濡れ物				33
	グラスウールのみ	同メーカーの付属品混入			34
		グラスウール材のみ			35
	岩綿吸音板のみ				36
	ロックウールのみ	同メーカーの付属品混入			37
		ロックウール材のみ			38
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず メーカーリ サイクル品等を除く	(瓦、タイル端材、レンガ、はきゴミ)	埋戻し最終処分品			39
紙くず ダンボール	汚れ、異物付着・混入物有り		再生不可へ		40
	汚れ、異物付着・混入物無し	水濡れ有り 水濡れ無し	再生不可へ		
紙くず	再生可能	(セメント袋、芯材)			41
	再生不可				42
処理困難物					43

解体工事における分別

分類品目名	品質基準1	品質基準2	品質基準3	品質基準4	番号	
廃プラスチック類	汚れ、異物付着・混入有り				1	
	汚れ、異物付着・混入無し	複合材 プラ系のみ			2	
				塩ビ系	3	
				非塩ビ系	4	
	発泡ウレタン・スチロール					5
	タイルカーペット					6
廃プラスチック類 塩ビ管	汚れ、異物付着・混入有り				7	
	汚れ、異物付着・混入無し (接着材を除く)	標準色塩ビ管			8	
		色物塩ビ管			9	
木くず	伐採材、伐根材				10	
	複合建材				11	
	木材	汚れ、異物付着・混入有り			12	
		汚れ、異物付着・混入無し			13	
がれき類	コンクリートがら	金属等異物の混入物			14	
		他の建材との複合物			15	
		汚れた土砂、有機性の付着物			16	
		コンクリートのみ	30cm以上		17	
			30cm未満		18	
	アスコンがら				19	
その他がれき(コンクリート2次製品、大谷石、自然石、セメント瓦、CB)				20		
金属くず	鉄くず	汚れ、異物付着・混入有り	有機性付着物		21	
			無機性付着物		22	
		汚れ、異物付着・混入無し			23	
	非鉄くず	汚れ、異物付着・混入有り	有機性付着物		24	
			無機性付着物		25	
		汚れ、異物付着・混入無し			26	
	電線くず				27	
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず 石膏 ボード (メーカー不明)	汚れ、異物付着				28	
	混入物有り				29	
	砒素、カドミウム混入物				30	
	水濡れ物				31	
	ラス&プラスター工法物				32	
	石膏ボードのみ	細かくなりすぎた物				33
		ボード状の物				34
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず グラスウール、 岩綿吸音板、ロックウール	汚れ、異物付着・混入物				35	
	水濡れ物				36	
	グラスウールのみ	付属品混入			37	
		グラスウール材のみ			38	
	岩綿吸音板のみ				39	
	ロックウールのみ	付属品混入			40	
ロックウール材のみ				41		
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず メーカーリ サイクル品等を除く	残渣	埋戻し最終処分品			42	
紙くず	再生可能				43	
	再生不可				44	
繊維くず	畳(スタロ畳除く)				45	
アスベスト含有建材					46	
処理困難物	アスファルト・フィンク・便器類、FRP類				47	